講座　　活溌溌禅　　　　　　　　　　　２０２１年５月１６日

テーマ：　「私」とは「自分の足で立ち上がること」であり「命」である。

◎ウィリアム・ジェイムズ（1842 - 1910）『宗教的経験の諸相』（1902年）（岩波文庫から改訳。）

●ジェイムズ自身の20代後半の**「生ける屍」体験**（を語ったとされている箇所）

　「こうして、哲学的な厭世主義の状態におちいり、将来の見通しについてすっかり気持が陰鬱になっていた頃のある夕方のこと、私はある品物を取るために、夕闇の中を衣裳部屋へ入った。そのとき突然、なんの予告もなしに、まるでその暗闇から現われたかのように、**私自身の存在に対する身の毛もよだつような恐怖が私を襲った**。

　それと同時に、かつて保養所で見たことのある癲癇病患者の姿が、私の心に浮かんできた。それは、緑がかった皮膚の色をした、髪の黒い青年で、全くの知的障害者だった。彼はよく、**膝を立てて顎をのせ、彼の一枚きりの着物である粗末な灰色のシャツを全身をくるむようにして膝の上にかぶせて、一日中**、椅子か、壁にもたせかけた棚に依りかかって坐っているのが常であった。

　彼は、**彫刻のエジプト猫か、ペルーのミイラのようにそこに坐っていて、黒い眼だけしか動かさず、全く人間とは見えなかった。その姿（イメージ）と私の恐怖とが、一種独特なふうにお互いに結びついた。潜在的には、あの姿が私なのだ（THAT SHAPE AM I）、と私は感じた。**

**あの青年と同じように、私にもああいう姿になり果てる時がきたら、私のもっているどんな物も、その運命から私を守ることはできないのだ。**

**このように私は彼を恐れ、また彼と私との違いはごく一時的なものにすぎないと感じたため、今まで私の胸のなかでがっしり基礎を固めていたものが全く崩れてしまって、私自身が恐怖に震えおののく塊になったようであった。**

　**それ以来、宇宙が私にとって全く一変してしまった。毎朝毎朝、私は、みぞおちにぞっとするような恐ろしさを感じながら**、それ以前もそれ以後も感じたことがなかったような**生きる不安感を覚えながら、目を覚ました。**それはあたかも**啓示（revelation）のよう**であった。

　とにかく、私は一人取り残されることを恐れた。人生の表面の下に隠されているあの不安定の奈落に気づかずに、どうして他の人々が生きていられるのか、どうして私自身がこれまで生きてきたのか、と不思議に思ったことを、私は覚えている。…

　私のこの憂鬱の経験には**宗教的意味がある**、と私はいつも思っている。…

　その恐怖はとても強力で侵略的だったので、もし、『永遠なる神は、わが隠れ家なり…』 『すべて労する者、重荷を負う者、われに来れ…』『**われは復活なり、生命なり**…」**などの聖書の言葉にすがらなかったならば、私はほんとうに気が狂ったにちがいない、ということを言おうとしたのです。**」

◎聖書から。

●ヨハネ福音書１１章２５節：**Ἐγώ εἰμι ἡ　 ἀνάστασις καὶ　 ἡ 　ζωή**.

　イエスは言われた。「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、死んでも生きる。生きていてわたしを信じる者はだれも、決して死ぬことはない。このことを信じるか。」

　英訳：**I am the resurrection and the life.**

●「使徒言行録」26章16節：**ἀλλὰ　 ἀνάστηθι　 καὶ　 στῆθι 　ἐπὶ 　τοὺς πόδας足 σουあなたの**.

こうして、わたしは、祭司長たちから権限と委任とを受けて、ダマスコに行ったのですが、 13王よ、その途中、真昼に、光が天からさして来るのを見ました。それは、太陽よりも、もっと光り輝いて、わたしと同行者たちとをめぐり照しました。 14わたしたちはみな地に倒れましたが、その時ヘブル語でわたしにこう呼びかける声を聞きました、『サウロ、サウロ、なぜわたしを迫害するのか。とげのあるむちをければ、傷を負うだけである』。 15そこで、わたしが『主よ、あなたはどなたですか』と尋ねると、主は言われた、『わたしは、あなたが迫害しているイエスである。 16**さあ、起きあがって、自分の足で立ちなさい**。わたしがあなたに現れたのは、あなたがわたしに会った事と、あなたに現れて示そうとしている事とをあかしし、これを伝える務に、あなたを任じるためである。17わたしは、この国民と異邦人との中から、あなたを救い出し、あらためてあなたを彼らにつかわすが、 18それは、彼らの目を開き、彼らをやみから光へ、悪魔の支配から神のみもとへ帰らせ、また、彼らが罪のゆるしを得、わたしを信じる信仰によって、聖別された人々に加わるためである』。（日本聖書協会の訳）

　英訳：But **rise up and stand on your feet**.

●「使徒言行録」14章10節：**Ἀνάστηθι　 ἐπὶ 　τοὺς 　πόδας σου　 ὀρθός**.

　ルステラに足のきかない人が、すわっていた。彼は生れながらの足なえで、歩いた経験が全くなかった。 9この人がパウロの語るのを聞いていたが、パウロは彼をじっと見て、いやされるほどの信仰が彼にあるのを認め、 10大声で「**自分の足で、まっすぐに立ちなさい**」と言った。すると彼は踊り上がって歩き出した。 11群衆はパウロのしたことを見て、声を張りあげ、ルカオニヤの地方語で、「神々が人間の姿をとって、わたしたちのところにお下りになったのだ」と叫んだ。 12彼らはバルナバをゼウスと呼び、パウロはおもに語る人なので、彼をヘルメスと呼んだ。 13そして、郊外にあるゼウス神殿の祭司が、群衆と共に、ふたりに犠牲をささげようと思って、雄牛数頭と花輪とを門前に持ってきた。 14ふたりの使徒バルナバとパウロとは、これを聞いて自分の上着を引き裂き、群衆の中に飛び込んで行き、叫んで 15言った、「皆さん、なぜこんな事をするのか。わたしたちとても、あなたがたと同じような人間である。そして、あなたがたがこのような愚にもにもつかぬものを捨てて、天と地と海と、その中のすべてのものをお造りになった生ける神に立ち帰るようにと、福音を説いているものである。

　英訳：**Stand up straight on your feet!.**

●コリント後１２章９節：**Ἀρκεῖ 　σοι　 ἡ　 χάρις 　μου**  **ἡ γὰρ δύναμις ἐν ἀσθενείᾳ τελεῖται.**

**英訳　My grace is sufficient for you, for my power is made perfect in weakness.**

7そこで、高慢にならないように、わたしの肉体に一つのとげが与えられた。それは、高慢にならないように、わたしを打つサタンの使なのである。 8このことについて、わたしは彼を離れ去らせて下さるようにと、三度も主に祈った。 9ところが、主が言われた、「**わたしの恵みはあなたに対して十分である。わたしの力は弱いところに完全にあらわれる**」。それだから、キリストの力がわたしに宿るように、むしろ、喜んで自分の弱さを誇ろう。 10だから、わたしはキリストのためならば、弱さと、侮辱と、危機と、迫害と、行き詰まりとに甘んじよう。なぜなら、わたしが弱い時にこそ、わたしは強いからである。

英訳：**My grace is sufficient for you, for my power is made perfect in weakness.**

●マルコ福音書１４章３６節：**Ἀββᾶ ὁ Πατήρ πάντα δυνατά σοι.**

**παρένεγκε τὸ ποτήριον τοῦτο ἀπ’ ἐμοῦ 　ἀλλ’ οὐ　 τί　 ἐγὼ θέλω　 ἀλλὰ　 τί　 σύ**.

**英訳　Abba, Father everything is possible for you.**

**Take this cup from me. Yet not what I will, but what you will.**

さて、一同はゲツセマネという所にきた。そしてイエスは弟子たちに言われた、「わたしが祈っている間、ここにすわっていなさい」。 33そしてペテロ、ヤコブ、ヨハネを一緒に連れて行かれたが、恐れおののき、また悩みはじめて、彼らに言われた、 34「わたしは悲しみのあまり死ぬほどである。ここに待っていて、目をさましていなさい」。 35そして少し進んで行き、地にひれ伏し、もしできることなら、この時を過ぎ去らせてくださるようにと祈りつづけ、そして言われた、 36「アバ、父よ、あなたには、できないことはありません。**どうか、この杯をわたしから取りのけてください。しかし、わたしの思いではなく、みこころのままになさってください**」。 37それから、きてごらんになると、弟子たちが眠っていたので、ペテロに言われた、「シモンよ、眠っているのか、ひと時も目をさましていることができなかったのか。 38誘惑に陥らないように、目をさまして祈っていなさい。心は熱しているが、肉体が弱いのである」。

英訳： "Abba, Father," he said, "everything is possible for you. Take this cup from me. Yet not what I will, but what you will."